

2018 年度 F D 実施報告書

学部・学科	食物栄養学科
<p>F D 取り組みへの理念・目標</p> <p>[理念] 食物栄養学科の 3 ポリシーに基づき実践力のある栄養士を養成するための学修支援、それを可能にするための教員の教育能力向上のための組織的な取組を実践する。</p> <p>[目標] 上記理念に基づき、学科定員が完全に 80 名となった平成 30 年度において、将来構想を中心に「大学教育の質的転換」と「教職員の資質向上」を柱として、以下に挙げるテーマ・内容について検討する。これにより、教職員間の情報の共有と意識の統一および「主体的に学び、考え、行動する人材の育成」を目指し、社会に貢献できる栄養士の輩出に取り組む。</p>	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
<p>第 1 回 5 月 10 日 17:30～</p>	<p>テーマ 1 「入学者の基礎学力の向上について」</p> <p>① プレイスメントテスト結果とラーニングサポートセンター（LSC）との連携による学修支援（補完授業）</p> <p>30 年度入学者の基礎学力の把握と今後の学修支援のために、プレイスメントテスト結果について検討し、LSC との連携による学修支援を実施することとなった。</p> <p>テーマ 2 「入試制度改革」</p> <p>① 入試制度に対応した入試選抜方法の改善</p> <p>2020 年度から実施される新大学入試制度に対応させるため、食物栄養学科における新入試への対応（推薦入試での面接への配点、推薦入試・一般入試での調査書の取り扱い）について検討した。</p>
<p>第 2 回 8 月 2 日 14:30～</p>	<p>テーマ 1 「学びの環境支援と教育の質改善」</p> <p>① ルーブリック導入による授業評価の試行</p> <p>② e-ラーニング導入による授業改善の検証</p> <p>③ アクティブラーニング（AL）の事例報告と授業評価</p> <p>学びの環境支援と教育の質改善として、前学期に行われた調理学・食品学・英語それぞれの担当者から実践例（ルーブリック・e-ラーニング・AL）が紹介され、今後の課題や改善策について検討した。</p>
<p>第 3 回 10 月 4 日 16:40～</p>	<p>テーマ 1 「前学期の取組み」の評価</p> <p>① 「大学基礎演習」の取組みと授業アンケート調査の結果・今後の課題について</p> <p>演習内容の理解度・満足度は高いが、アンケート結果から次年度に向けて内容の検討を確認した。</p> <p>テーマ 2 「質の高い栄養士養成」</p> <p>① 平成 30 年度の栄養士実力認定試験において A 判定者 85%以上を目指した取組み</p> <p>平成 30 年度の栄養士実力認定試験において A 判定者 85%以上を目指した取組みとして、1) 昨年同様に模擬試験を 4 回実施、2) 模擬試験成績不良者（60%未満）に対する補講の実施、3) 栄養士特論（N-Leaps）に過去問（阿部先生作成）を掲載し、試験勉強の利便性を図る。</p>

<p>第4回 12月6日 17:30～</p> <p>第5回 2月7日 9:30～</p>	<p>テーマ3「学生生活実態調査結果」について 生活支援課 岩尾課長補佐 食物栄養学科に所属する学生（新2年生）の満足度は91.4%と高いが、一方「就職・進路への不安」や「就学意欲がわからない」などの不安を抱く学生がいることも確認され、今後の学生指導に反映させることが必要であると示された。</p> <p>テーマ1「学びの環境支援と教育の質改善」 ①ポートフォリオ導入の検討 ポートフォリオの由来、学びと教育の見える化、学びのポートフォリオの現状と問題点、および活用例について紹介した。 ②学科アセスメントポリシー導入の検討 アセスメントポリシーの考え方や具体例が紹介され、学科アセスメントポリシーについて今後検討する必要があることを確認した。</p> <p>テーマ2「入学者の基礎学力の向上について」 ①入学前教育実施内容の検討（プレカレッジ、入学前ドリル、入学準備講座等） 2018年度にラーニングサポートセンターの協力により実施された入学前講座（入学前Web講座、入学前準備講座）のスケジュールと実施状況について報告され、来年度に向けての取り組みを検討した。</p> <p>テーマ1「平成30年度前学期授業アンケート結果の公表と授業改善について」 平成30年度前学期授業アンケート結果について各担当教員から説明があり、結果を踏まえ来年度に向けてe-ラーニングやALの改善点などを検討した。加えて、全教科にルーブリックを導入することを確認した。</p>
---	--

「教育システム改革2014（FD2014）」の進捗状況

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	昨年と比較し、ルーブリックを導入している教員は増加していた。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	第5回FD研修会で検討され、2019年度の授業改善に活用する。
教育方法の改善	アクティブラーニング（特にPBL）の推進 PBL：課題解決型授業	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	実施されている取り組みについて検証し、今後も継続して実施する。